

【提言 1】 さくら市に欲しい施設について

さくら市にある施設の中で、現在すでに使用されている目的のある施設に関してはさらに広義的な利活用を促進させることが必要。

- ・全ての世代の「居場所づくり」を加速化させる取り組みを整備すること
- ・また、全ての世代の市民の「やりたい！」が叶う複合施設を整備すること

【提言 2】 選挙の投票率について

投票率を上げるために、投票しやすい環境を整えることが必要。

そのためにシステム上の改善はもちろんだが、選挙が市民（県民・国民）においてどのような影響を及ぼすものであるのか、自分たちの生活への影響などへの理解が深められることが求められる。

- ・単なる仕組みを学ぶではなく、選挙が身近に感じられる主権者教育に力を入れること
- ・市有バスなどを活用した移動投票所や、スーパーマーケットなど広く市民が利用する場所への出張投票所などを設けること

【提言 3】 子育てについて

子育て支援は当事者目線での支援を再検証することが必要であり、また子育て分野におけるDXの推進（スマホアプリ）や子育て情報の一元化（支援、医療、イベント等）を求める。

【提言 4】 栃木SCとの連携について

- ① 栃木SC練習場設置に伴い選手と市民（特に小中学生）との交流の場の設定
- ② 喜連川練習場周辺の整備。グリーンフィールド、露天風呂、B&G海洋センタープール、保健センターを回遊できる環境整備
- ③ スポーツ、教育、農商工との連携で地元への経済効果を上げる仕組み作り
- ④ 市民へのPRの実施（横断幕、のぼり旗の設置、広報さくらでの選手紹介等）などの取り組みが必要

【提言 5】 お丸山公園整備について

スカイタワーを含め、お丸山公園整備の全体構想を早急に決定すべきである。

【提言 6】 氏家駅東再整備について

宇都宮清住町開発や宇都宮駅東口LR T整備を参考としながら費用対効果を含め、速やかな対応を求める。